

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	術前導入療法後の臨床病理学的研究
	研究対象者	非小細胞肺癌と診断された患者さんのうち、2004年12月から2024年12月までに当センター呼吸器内科・外科で術前療法を行い、手術を受けられた方
	研究目的	近年肺癌の治療において、手術前に免疫療法と抗癌剤を組み合わせる治療法が広く使われるようになってきました。この研究では、抗癌剤や放射線、免疫療法などの術前治療を受けた肺癌患者さんの手術後の組織を詳しく調べることを目的としています。 特に、免疫チェックポイント阻害薬と抗癌剤を組み合わせた治療を受けた後の、癌組織の状態を詳しく観察します。がん細胞の残り具合や、組織の固まり具合（線維化）、細胞が死んでいる部分（壊死）などを調べ、これらとがんの大きさや場所、PET検査の結果などとの関係を分析します。この研究により、手術でどの範囲を切除すべきかの決定に役立つ重要な情報が得られると期待されています。
	研究方法	術前治療を受けた方の病理組織標本を用い、腫瘍組織や線維化の分布を検討します。また術前の検査値など臨床的な特徴との比較を行います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2025 年 1 月 27 日 ~ 西暦 2027 年 12 月 31 日
	利用又は提 供を開始す る時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・ 情報の項目（チ ェック[X]が入 った項目を利用し ます）	[X]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載: <u>肺手術検体、気管支鏡生検検体のプレパラート</u>)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、 [X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線 診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡デー タを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
試料・情報を利 用する者の範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 呼吸器外科 鎬木 結衣
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 鎬木 結衣 045-520-2222（代表） 利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 30 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されてい た場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	